

株式会社 MORESCO

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

第1四半期業績の概要

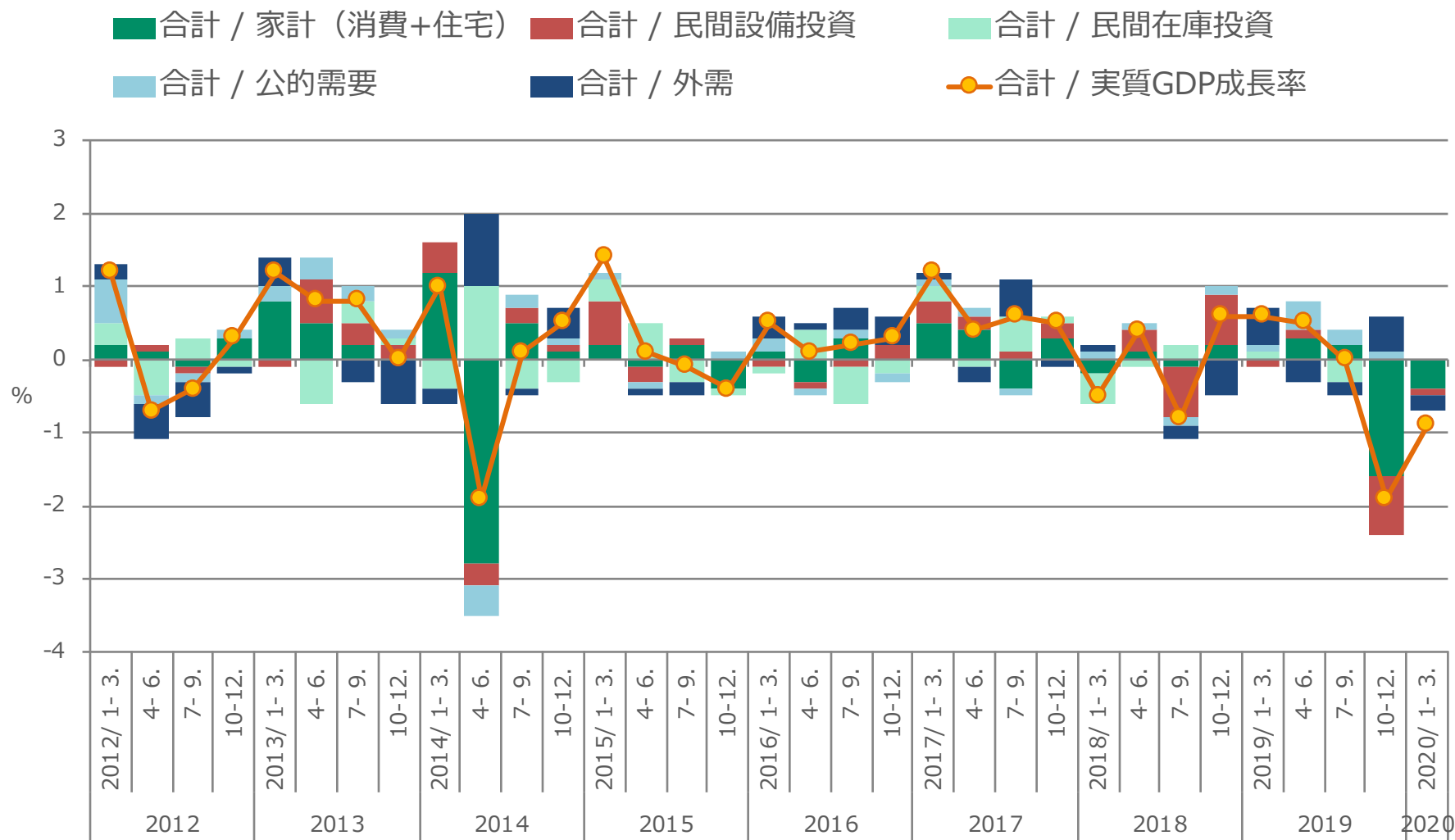
(2020年3月1日～2020年5月31日)

東証第一部5018 (石油・石炭製品)

2020/7

四半期別 実質GDP寄与度 推移

出展：内閣府



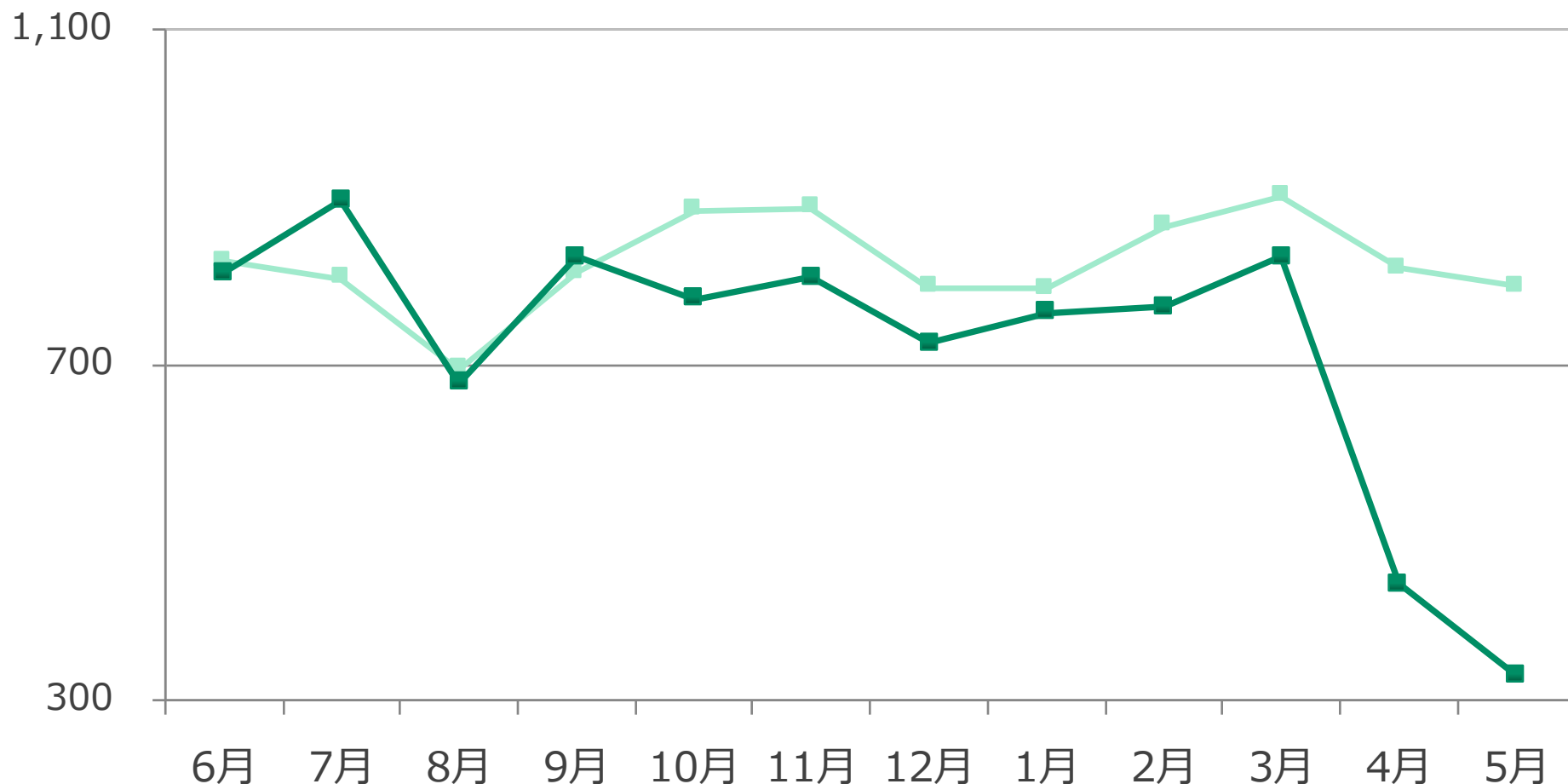
国内 月別 自動車生産台数

2018.6-2019.5

2019.6-2020.5

出典：日本自動車工業会
マークラインズ社

単位：千台

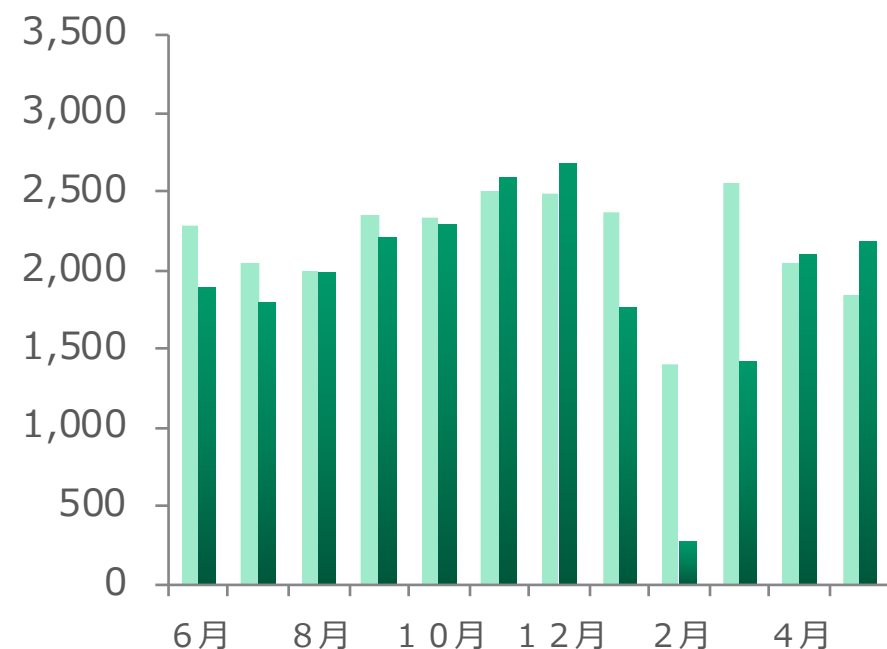


海外自動車生産台数の推移

■ 2018.6-2019.5
■ 2019.6-2020.5

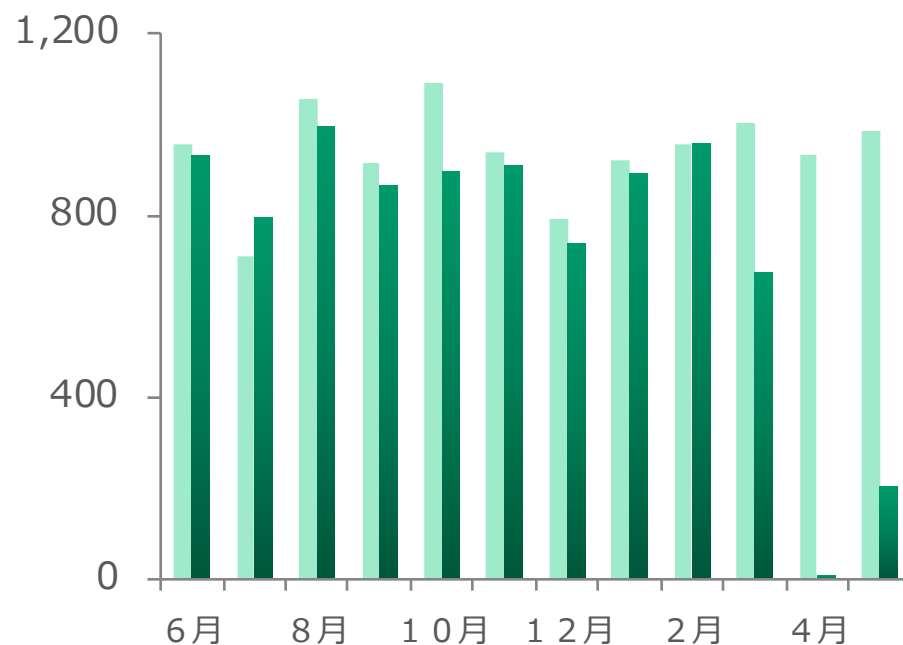
中国

単位：千台



アメリカ

単位：千台



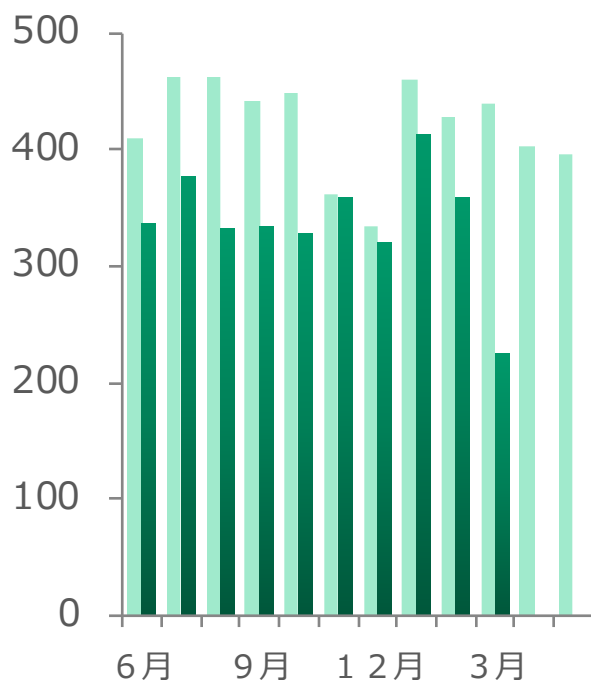
出典：マークラインズ社

海外自動車生産台数の推移

■ 2018.6-2019.5
■ 2019.6-2020.5

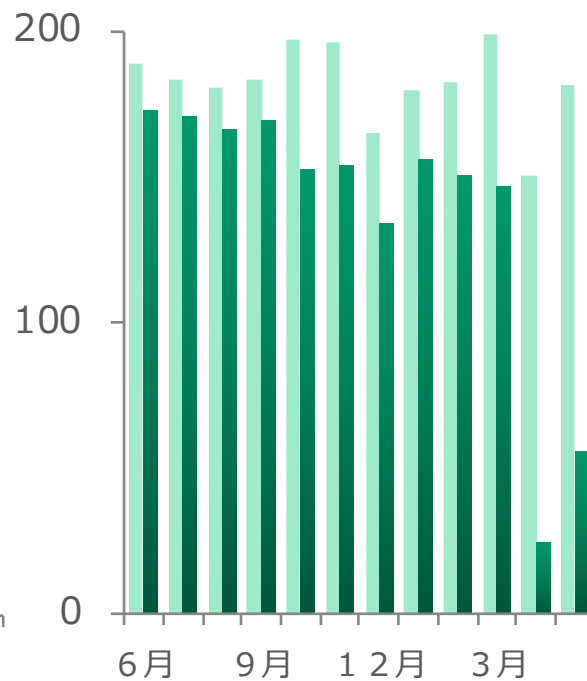
インド

単位：千台



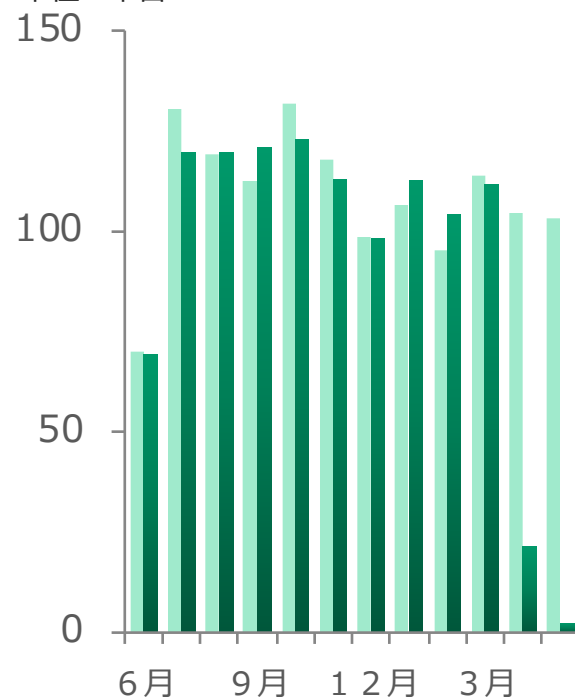
タイ

単位：千台



インドネシア

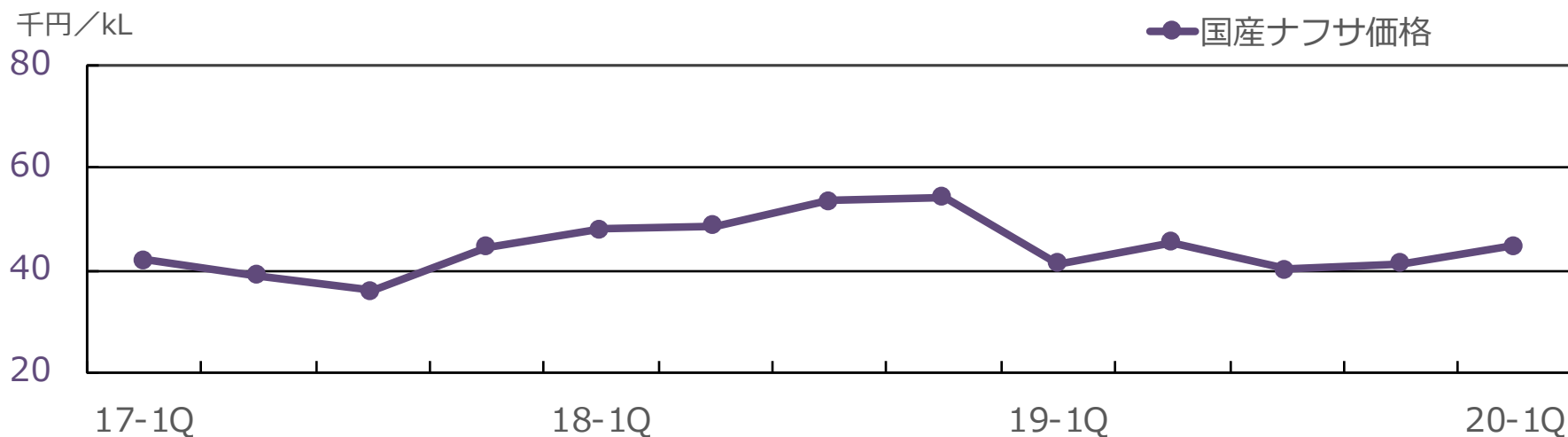
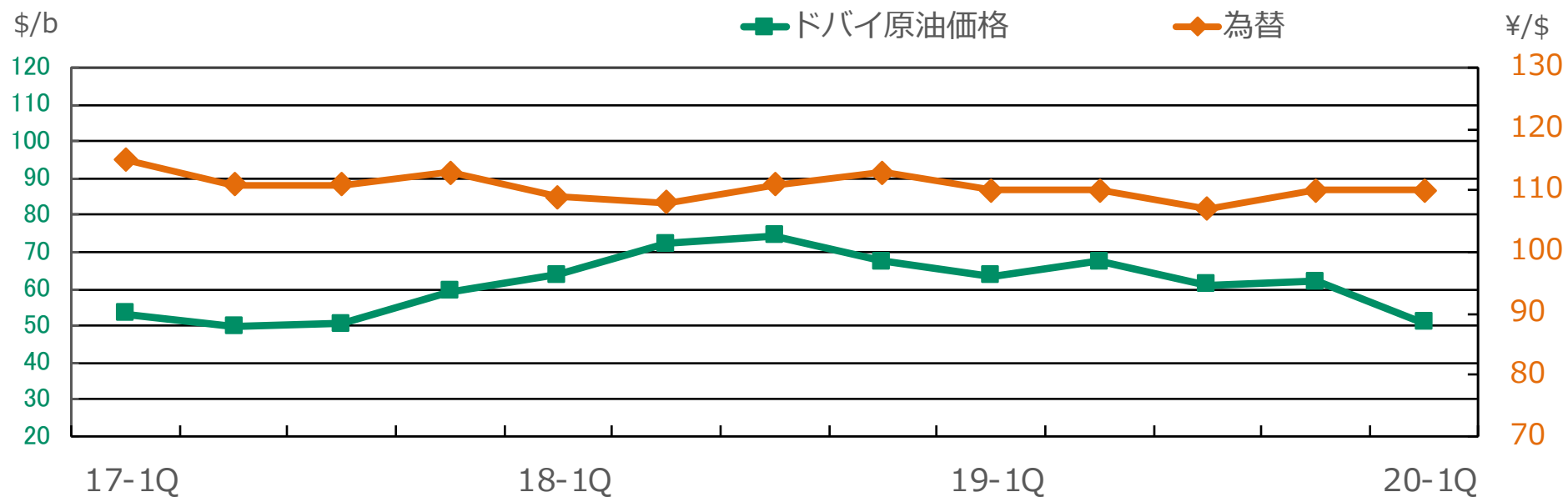
単位：千台



出典：マークラインズ社

当期の経営環境（5）

MORESCO



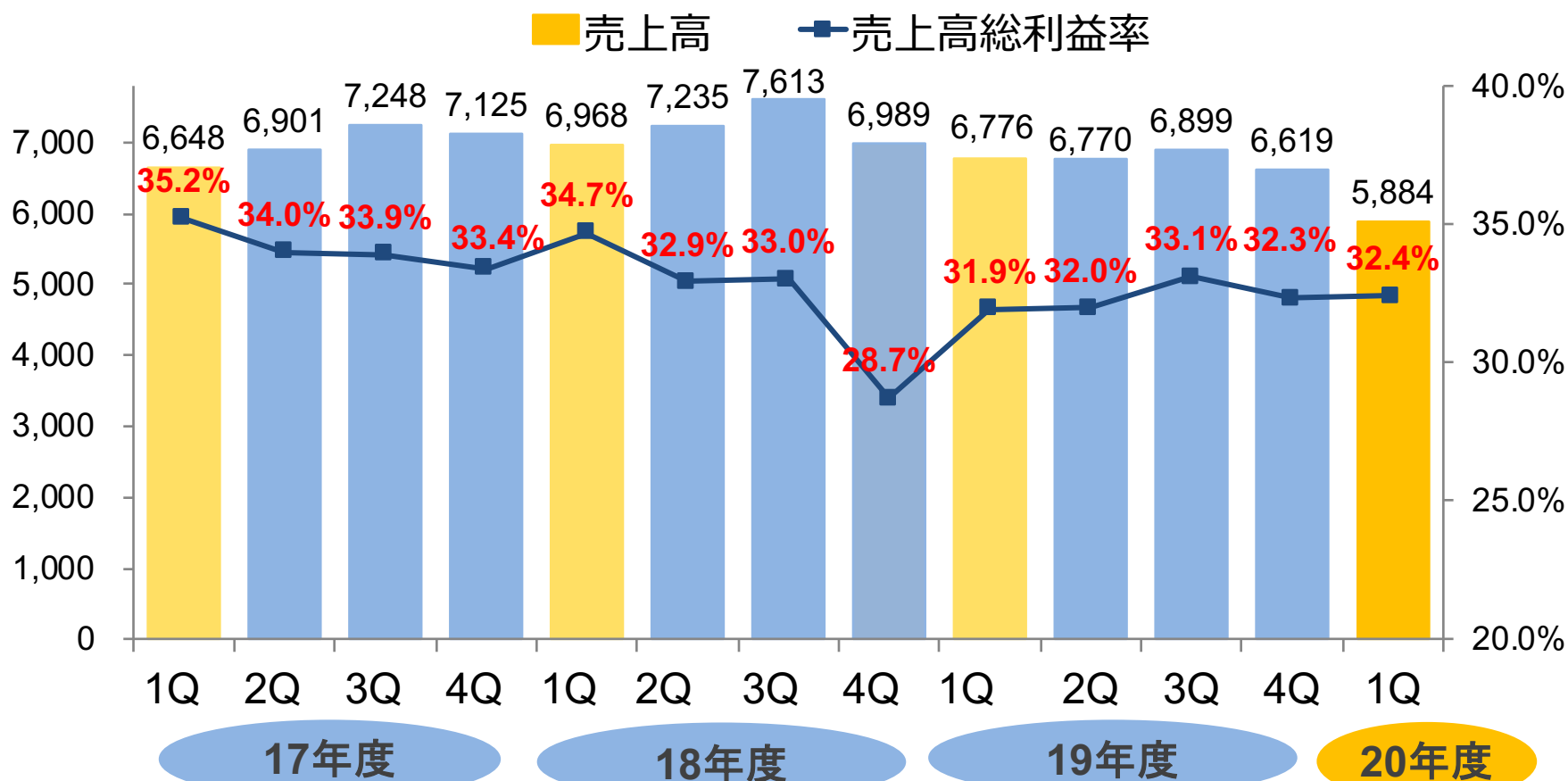
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、自動車部品メーカーの各国での操業停止や減産により売上高および利益が減少。

単位：百万円

科目	19 / 1Q	20 / 1Q	前期比
売上高	6,776	5,884	△13.2%
売上総利益	2,163	1,905	△11.9%
販管費	1,853	1,763	△4.9%
営業利益	309	142	△54.0%
営業外損益	69	△119	—
経常利益	378	24	△93.7%
税引前利益	378	24	△93.7%
当期純利益 (※)	177	△17	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

➤ 合成潤滑油の好調により、売上高は減少するも利益率は横ばい



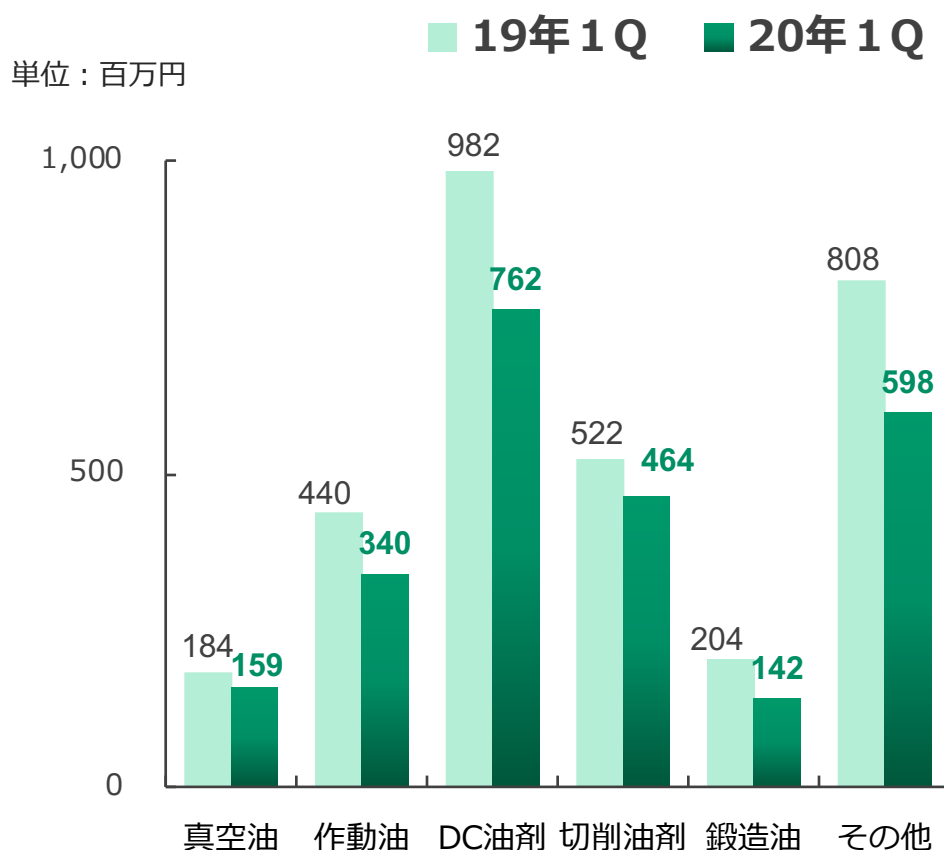
部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

科目	19 / 1Q	20 / 1Q	前期比
特殊潤滑油部門	3,140	2,464	△21.5%
合成潤滑油部門	472	525	+11.4%
（うち、HD潤滑剤）	158	220	+39.8%
素材部門	965	862	△10.6%
ホトメト接着剤部門	1,719	1,625	△5.5%
その他	467	394	△15.7%
化学品事業計	6,763	5,870	△13.2%
ビル事業	13	13	0.0%
売上高合計	6,776	5,884	△13.2%

➤ 部門全体の売上は前年比21.5%減（2,464百万円）
数量は18.7%減



➤ **ダイカスト用油剤・切削油剤
熱間鍛造潤滑剤**

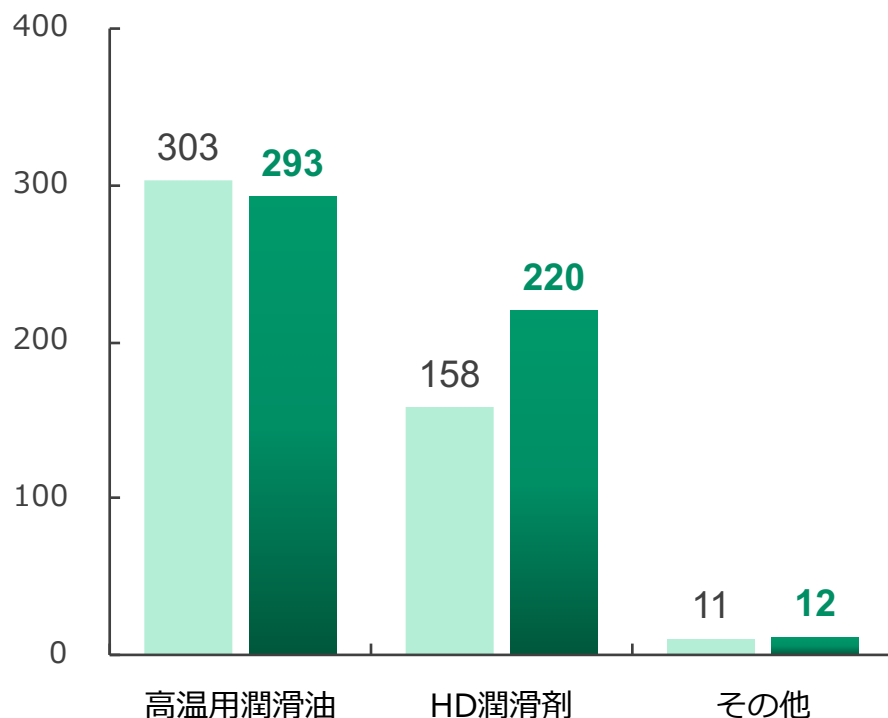
国内外の自動車部品メーカー操業
停止や減産の影響を受け、大幅な減収

➤ **真空油**

食品産業等幅広い分野で使用される
ため小幅な減少

➤ 部門全体の売上は前年比11.4%増（525百万円）
数量は8.4%減

単位：百万円 ■ 19年1Q ■ 20年1Q



➤ 高温用潤滑油

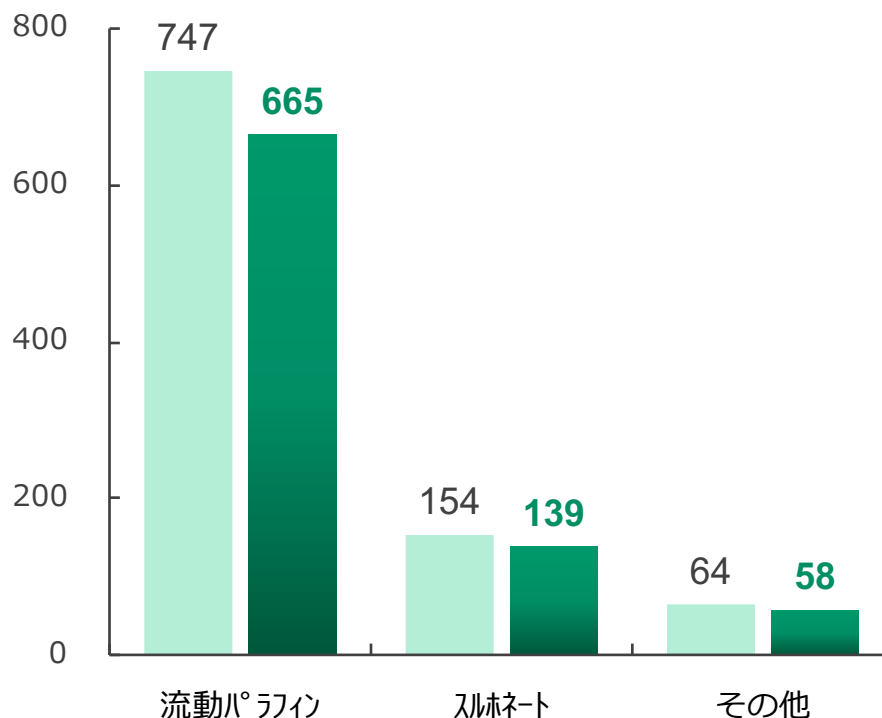
出荷が堅調に推移し前年同期並み

➤ ハードディスク表面潤滑剤

データセンター向けドライブ需要の増加で増収

➤ 部門全体の売上は前年比10.6%減（862百万円）
数量は13.2%減

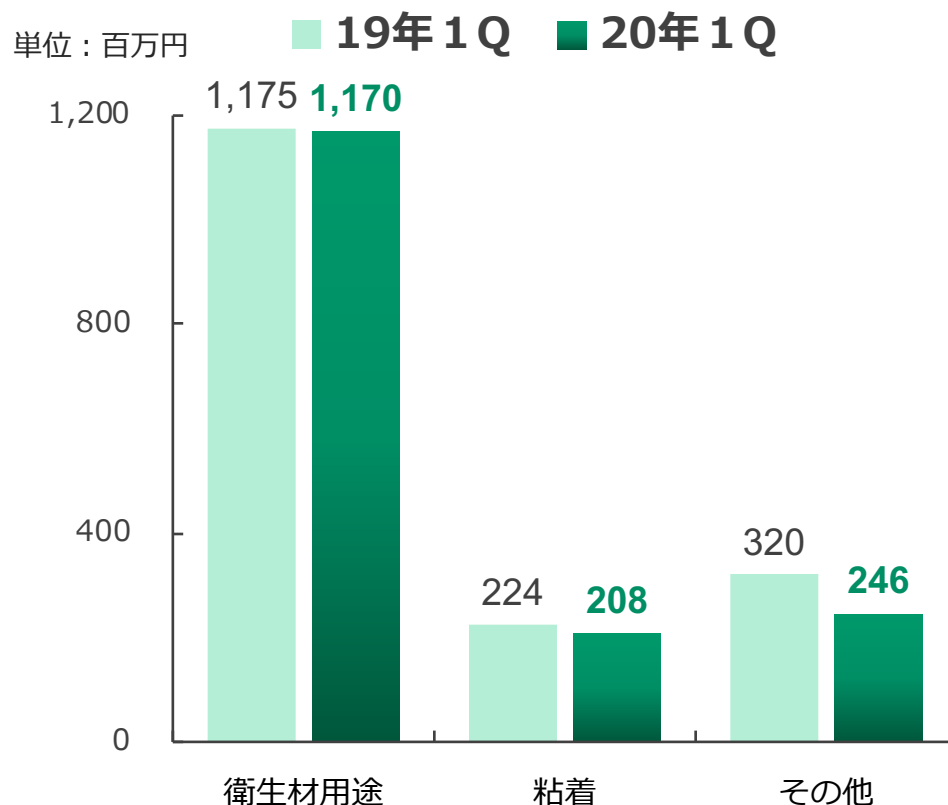
単位：百万円 19年1Q 20年1Q



➤ 流動パラフィン

リチウムイオンバッテリー用途の出荷は堅調であったが、ポリスチレン可塑剤用途での顧客の工場稼働率低下や化粧品用途でインバウンドの需要低迷の影響を受け減少

- 部門全体の売上は前年比5.5%減（1,625百万円）
数量は6.6%増



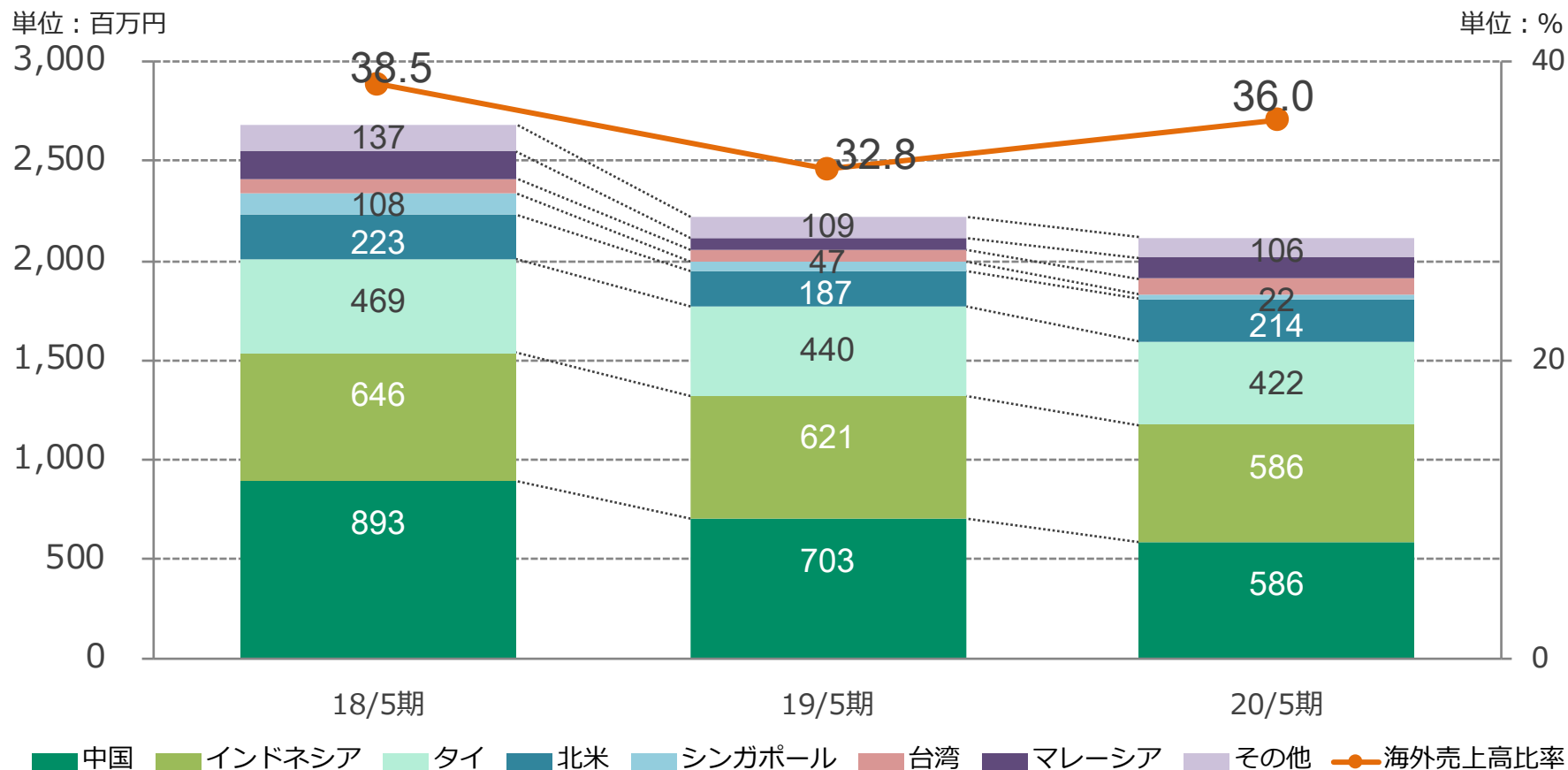
- 衛生材用途

堅調に推移し前年並み

- その他

自動車内装関連用途は減収

- 中国・東南／南アジアでは自動車生産台数の減少により減収、北米では1、2月は堅調に推移し増収。

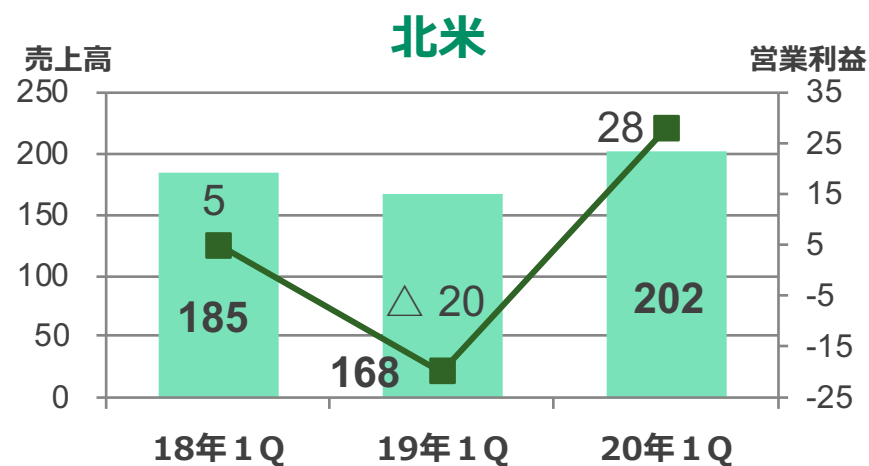
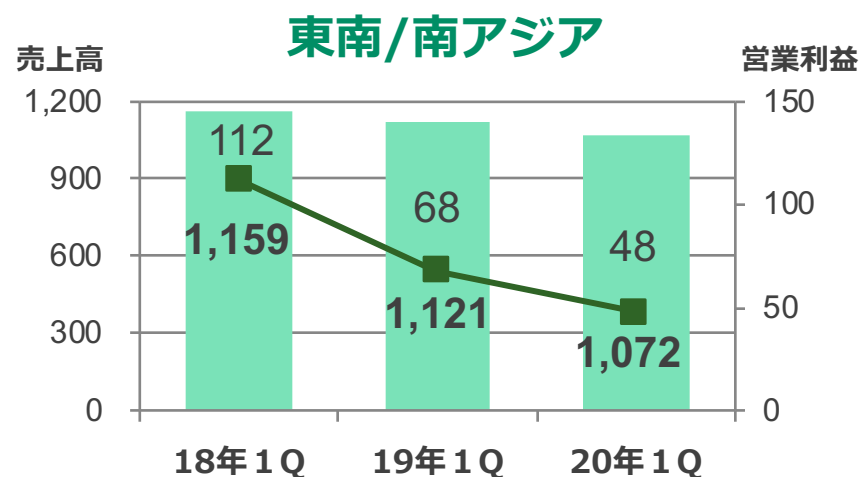
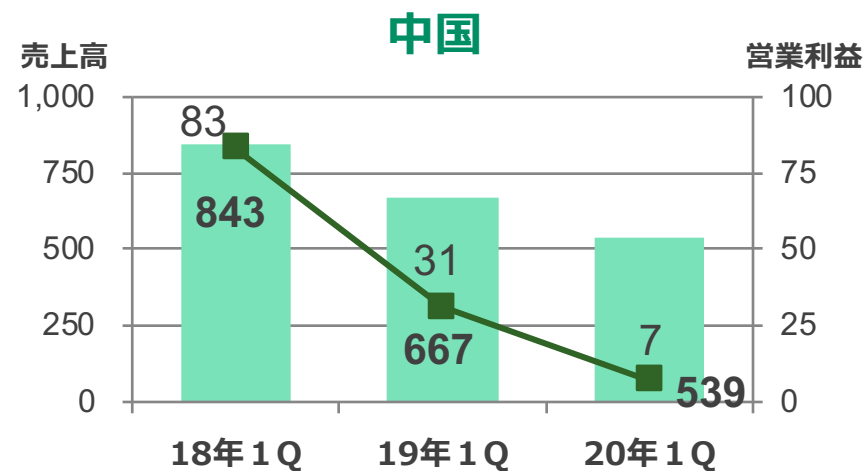
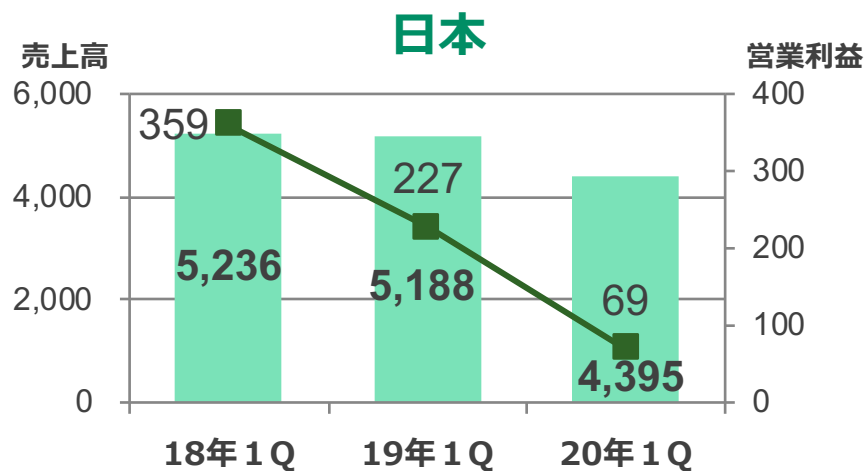


地域別損益（連結）

MORESCO

■ 売上高 ■ 営業利益

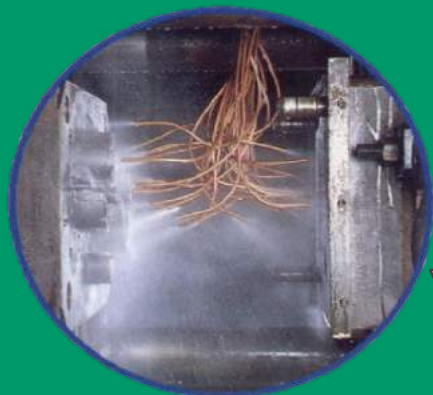
単位：百万円



- 新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延の状況により、今後の業績算定が困難であることから未定とした。

科目	2019年 1 Q	2019年度	2020年 1 Q	2020年度予想
売上高	6,776	27,064	5,884	—
営業利益	309	1,279	142	—
経常利益	378	1,568	24	—
当期純利益	177	776	△17	—

新製品・新分野



従来スプレー方式

- ・ ミスト飛散
- ・ 廃液大量発生
- ・ 騒音発生



少量塗布スプレー方式

- ・ 効率的な付着
- ・ 液ダレ発生なし
- ・ ミスト飛散なし

MQシリーズ

<メリット>

- ・ 工場内環境改善
- ・ 生産性向上
- ・ 品質改善 など

<採用実績>

- ・ 大手自動車メーカー
- ・ 大手ダイカストメーカー

<採用部品>

- ・ エンジンブロック
- ・ ミッションケース
- ・ バルブボディ など多数

今後のターゲット

少量塗布が活用できる鋳造部品への展開。

- ・ EV自動車部品 (薄肉)
- ・ 構造部品 (軽量化)
- ・ 新合金部品 (保温性)

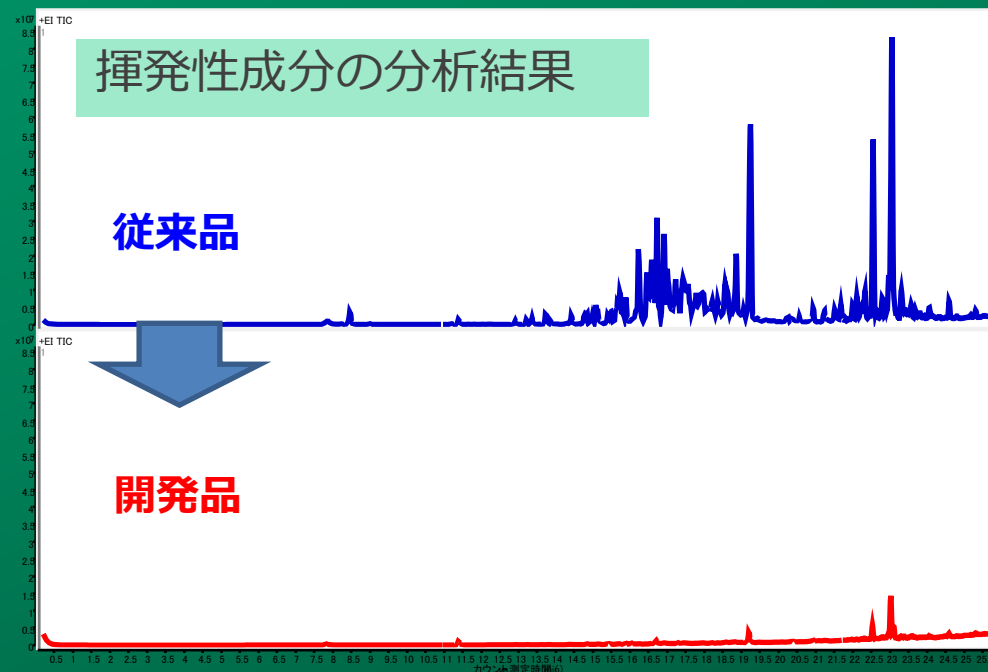


- ホットメルト接着剤から発生する原料由来VOC・臭気の削減に成功！

低VOC処理が行える設備を「天津莫莱斯柯科技有限公司」へ導入、実機生産体制構築



天津莫莱斯柯科技有限公司

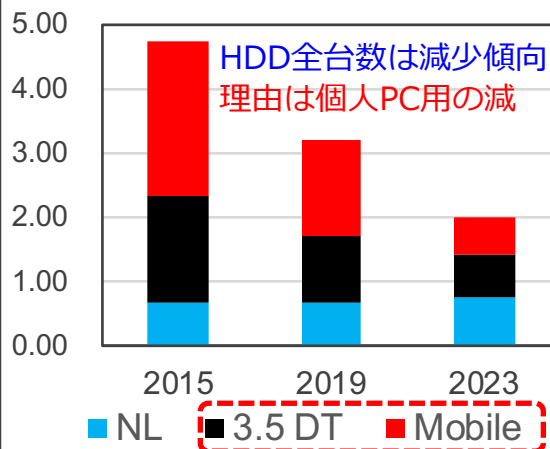


(注) VOCは、光化学スモッグやシックハウス症候群の原因であり、世界中で規制されています。

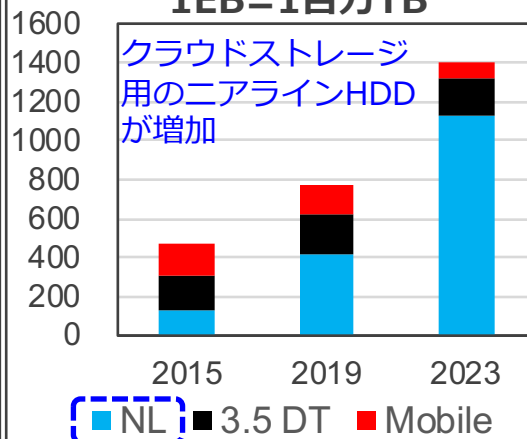
次世代磁気ディスク用表面潤滑剤

MORESCO

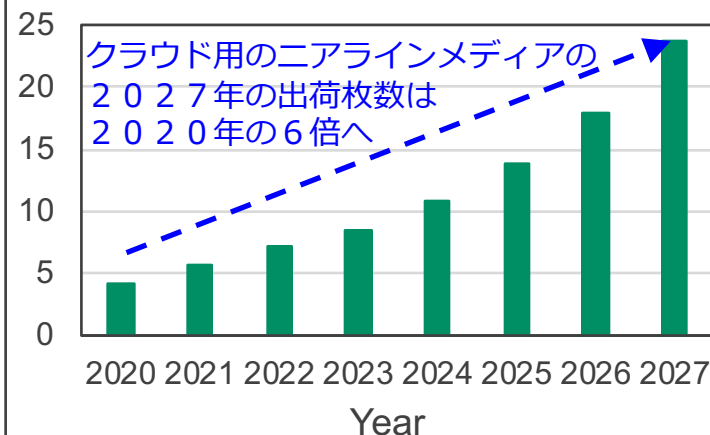
世界のHDD出荷台数
[億台]



世界の全記憶容量
[Exa Byte]
1EB=1百万TB

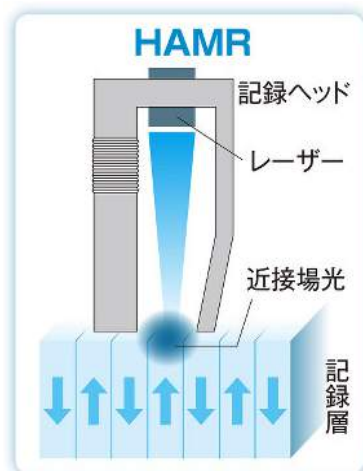


世界のNLメディア出荷枚数
[億枚]



今後は世界の爆発的なストレージ需要と、5Gによる超高速通信により、クラウドストレージ用の大容量ニアラインHDDが主流へ台頭。個人のローカルストレージは年々減少傾向。

HDDはSSDやテープとは棲み分け。MORESCOでは次世代ドライブ用のHDルブを開発し出荷予定。出荷量は2020年以降には増加に転ずる予想。



次世代HDDはレーザー加熱による高温記録 ← 高温用HDルブ開発

ニアラインドライブ

旧4TB HDDは
4枚メディア



最新16TB HDDは8枚メディア
(容量4倍、枚数2倍)

耐放射線用特殊潤滑剤（高耐久性オイル&グリース）

MORESCO

人類のサイエンスへの貢献



欧州原子核研究機構



スイス・フランスにまたがる
素粒子物理学用超巨大円形加速器



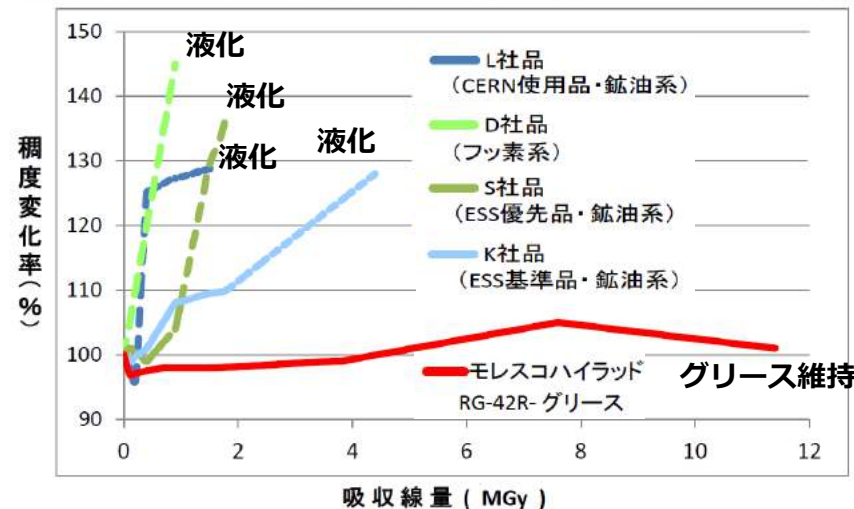
EUROPEAN
SPALLATION
SOURCE



スウェーデンに設置された
世界最強の陽子線形加速器

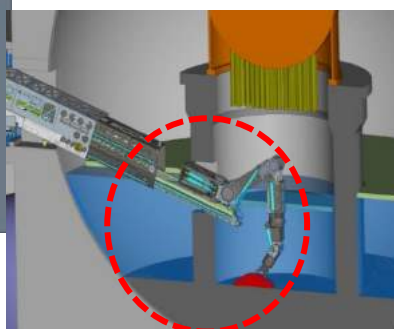
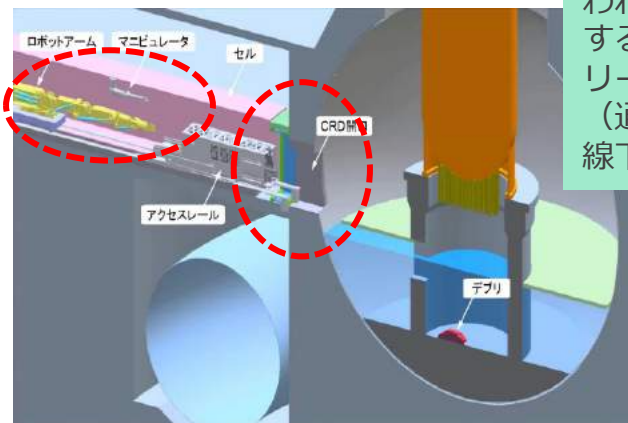
世界有数加速器の
高放射線エリアで、
各種装置用グリース
として採用。
各装置のメンテナ
ンスが容易に。

中性子線70%γ線30% 混合線照射によるグリース稠度変化

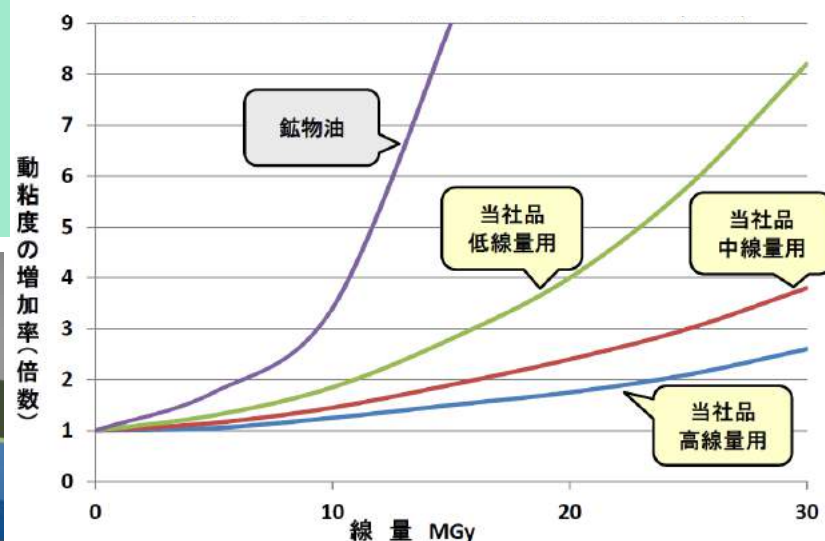


人類の廃炉への貢献

福島第一原発の廃炉工程で必要
な燃料デブリ取り出しが行
われる際に、高線量下で稼働
するロボットの可動部分のグ
リースなどに使用。
(通常のグリースでは高放射
線下で変質し使用不可に)



放射線（ガンマ線）によるオイルの劣化（動粘度変化）



① 創薬研究

構造最適化 “目前”

安全性スクリーニングへ

ヒット化合物

リード化合物

特許
出願
間近

前臨床化合物



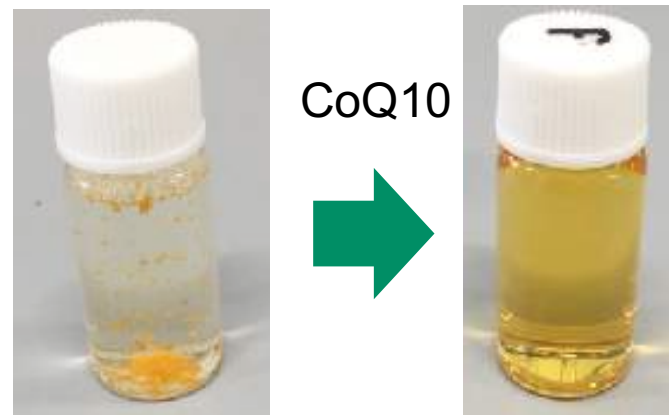
先進アカデミアとの共創



② ナノエマルジョン技術応用

基盤技術の特許成立 2 件

化粧品原料として展開開始



非水溶性有効成分を可溶化
ナノメートルサイズで分散

↓
吸収性向上

アンチエイジング
美白成分など

トピックス

監査等委員会設置会社へ移行。

- ・ 経営の透明性の向上
- ・ 経営の意思決定の迅速化

【取締役(監査等委員である取締役を除く。) 6名】

代表取締役会長 CEO

赤田 民生

代表取締役社長 COO

両角 元寿

取締役 専務執行役員 CFO

竹内 隆

取締役 上席執行役員 海外担当

瀬脇 信寛

取締役 上席執行役員 CTO

坂根 康夫

社外取締役

リ・ジュ・ジュディ・リン

監査等委員会設置会社へ移行。

- ・ 経営の透明性の向上
- ・ 経営の意思決定の迅速化

【監査等委員である取締役 4 名】

取締役 常勤監査等委員 作田 真一

社外取締役 監査等委員 町垣 和夫
(トーカロ株式会社相談役)

社外取締役 監査等委員 中上 幹雄
(澤田・中上・森法律事務所代表弁護士)

社外取締役 監査等委員 中塚 秀聡
(中塚秀聡税理士事務所税理士)

➤ 当社拠点のある3市に福祉車両を贈呈 (2013年度～)



2020年2月神戸市 (兵庫)



2020年2月赤穂市 (兵庫)



2020年3月市原市 (千葉)

➤ 神戸市環境奨励賞を受賞 (2018年)

環境に配慮した製品の普及、および毎月の本社・研究センター周辺の清掃活動が評価



有機薄膜太陽電池
(OPV)



ホットメルト接着剤の
エクセルコート化



本社・研究センター
周辺の清掃活動

➤ MORESCO流「働き方改革」

業務革新による労働生産性の向上、多様な働き方の推進、定年再雇用制度の充実を図り、従業員が更に活躍できるMORESCOを目指します。

現在の取組内容

- ・ 有給休暇取得の奨励
- ・ 8月の会議ゼロ
「ハッピーオーガスト」
- ・ フレックスタイムの充実

取組む課題

- ・ ITを取り入れた環境整備
- ・ RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)



安心して働き、活躍できる職場作りが評価され
ひょうご仕事と生活センターから
「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」に認定されました。

ご視聴ありがとうございました。



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。